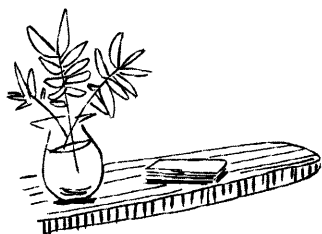


# 雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉



苧環

小林貴子

苧環や一生石を磨く人

梅雨穂草鐘は平和のために撞く

阿智村吟行四句

園原や木賊の芽生えびゆいびゆいと

紫陽花のくらがり神坂峠越え

夏霧と雲と境もあらぬ牧

最澄の背筋剛直若葉雨

難色はいかなる色か晴子の忌

先生の真白き付箋杜若

心にも水嵩上下杜若

まなうらに無形の彩やジギタリス